

自己紹介

1985年（37歳）

横浜生まれ横浜育ち中学卒業後、外構工事会社に就職

現在は空き家活用事業『solar crew』に奮闘中



[所属団体]

- NPO団体 green bird 横浜南 チームリーダー
- 一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス代表理事
- 横浜市 SDG s デザインセンター 地域コーディネーター
- 横浜南養護学校 外部委員
- 社会福祉法人たすけあいゆい 評議員
- NPO法人ユナイテッドかながわ 監事

solarcrew



地震への備え

- ・ 最寄りの町内会館が倒壊



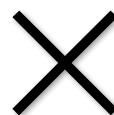
本来、地域の避難者を収容するべき町内会館が倒壊。
高齢者が炎天下の中テントで生活。

地震への備え

空き家 → 地域の電気防災ステーション



耐震シェルター **剛建**
有限会社宮田鉄工



電力・食料・飲料水の備
蓄

solar crew

泊まる



DIY



solar crew

働く



遊ぶ学ぶ

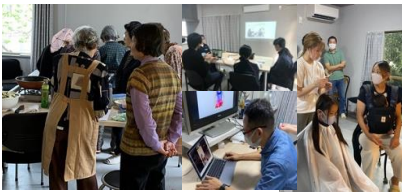


solar crewでできること

3つの体験



◆つくる体験...空き家を利用してDIYの体験ができます。プロの指導の下、リフォームやリノベーションの一部と一緒に作業します。作業は自宅で自分ができるような簡単な作業から難易度の高い作業まで、スキルレベルに応じて体験できます。



◆つかう体験...遊び、学び、働く体験ができます。crewは自分たちで作上げた拠点を活用してイベントやワークショップを開催し、また参加することができます。またコワーキングスペースとしてリモートワークの拠点としても使用できます。



◆解決する体験...空き家を含めた地域課題を解決する体験ができます。活動を通し、crewメンバー、地元住民、地元企業、行政、NPOなどつながりが生まれます。様々な分野がつながることにより空き家が、地域課題の解決を行うためのコミュニティ拠点となります。

さらにその先に...

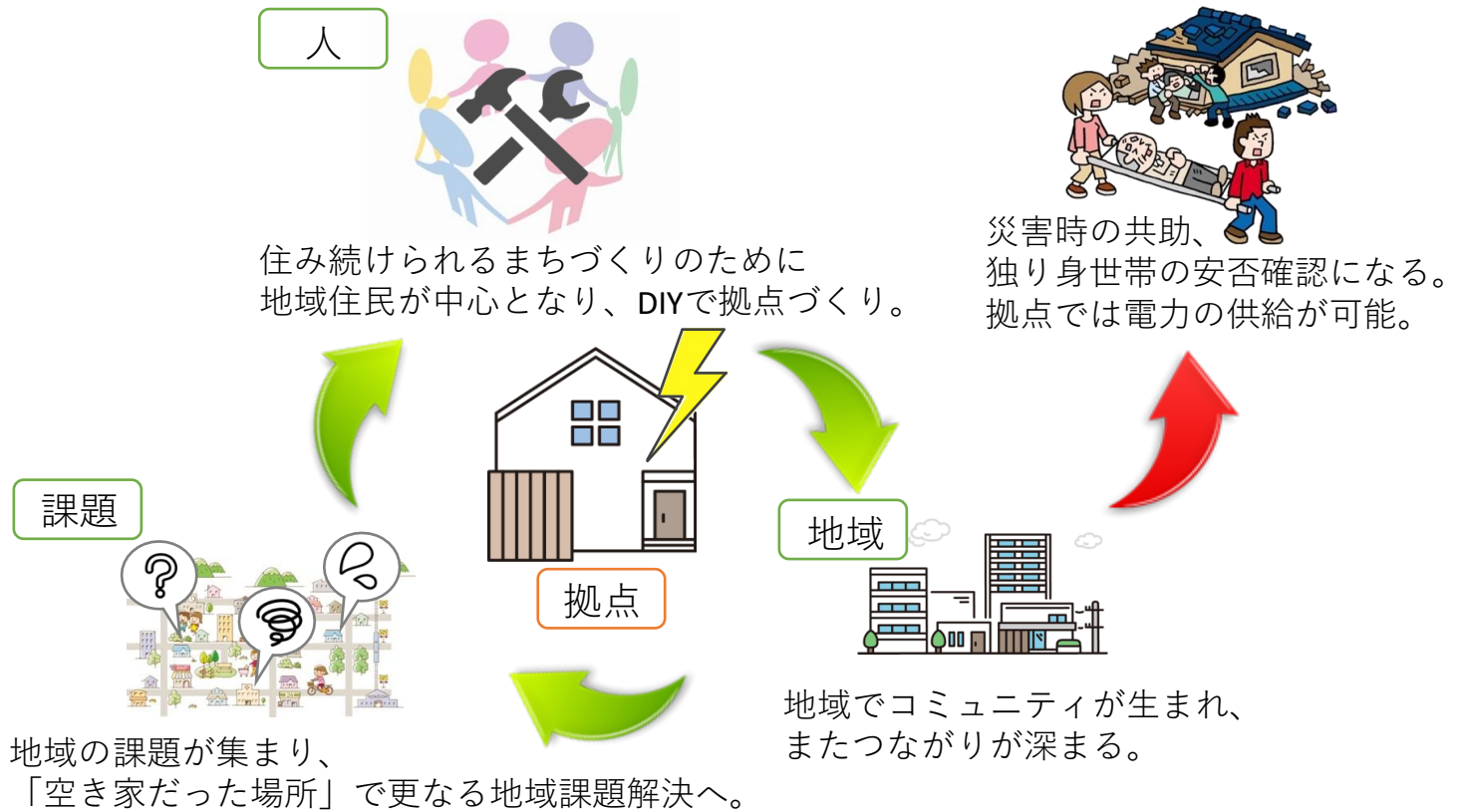
◎複業ワーカー

様々な地域で活動していただくことにより、地域の方との交流を通して新たなビジネスが生まれたケースもあります。

◎拠点管理者

拠点管理者に立候補ができます。町のキーパーソンとして拠点を活用することができます。

空き家活用がもたらす影響



solar crewはSDGsのゴールのうち7つのゴールに取り組んでいます。
この活動を通じて「交流人口」⇒「関係人口」と変えていきます。



solar crew

由

神奈川 7 拠点 東京 1 拠点 全 8 拠点で展開

| 拠点外観 | 町の魅力 町の課題 |
|---|--|
| <p>横浜市</p>  | <p>松田町</p> <p>横浜市内で2番目に治安の良い町として県警が発表。1時間に3~4本の始発電車があるため電車ユーザーには最適。</p> <p>坂の多い地域のため、少子高齢化が進む今、空き家の増加や地形による災害時の避難状況が問題視されている。</p> <p>「まつだ桜まつり」や気候を生かしたみかん栽培が有名。周囲の町より地価が安いいため自然が好きな方の移住先に◎。</p> <p>町外への転出減少、町外からの転入増加を目的に、ファミリー世代を中心とした住みやすいまちづくりが課題。</p> |
| <p>横浜市</p>  | <p>箱根町</p> <p>赤レンガ倉庫のあるみなとみらい、中華街、三溪園などの横浜市を代表する観光名所が有名。拠点は元アパート。</p> <p>自治会町内会の加入率が市内でも低く、多文化共生における新しいコミュニティの創出が求められている。</p> <p>大涌谷や温泉地として有名。山間部ながら都心からのロマンスカー含む鉄道、バス、ロープウェイなどが充実。</p> <p>2005年からは65歳以上の人口割合が町全体の20%以上。定住機能の強化、老若男女が住める環境づくりが必要。</p> |
| <p>真鶴町</p>  | <p>山北町</p> <p>町の景観に関する独自の「美の基準」を定め、「東洋のアマルフィ」といわれる町並み。</p> <p>少子高齢化に伴う空き家が増加している。人口は7,000人を下回り、約3,400世帯に対して空き家は560件を超える。</p> <p>町の約9割が国定公園や県立自然公園などを含む山岳地帯。丹沢湖を中心とした四季折々のイベントが魅力。</p> <p>1994年以降、人口減少が続き、定住対策を行っているが、現在では人口9,800人を下回っている。間伐材の利活用。</p> |
| <p>真鶴町</p>  | <p>墨田区</p> <p>「石の町」として栄えた反面、豊かな漁場にも恵まれている。また国有林ともなっていた「お林遊歩道」は必見。</p> <p>町内の15%近くが空き家になっている中、子育てママ向けの居場所作りのニーズも高まっている。</p> <p>浅草寺やスカイツリーなどの観光名所がある、日本の伝統が生きずいた町。大小様々な商店街が点在している。</p> <p>人口増加が見込まれる中で、地域コミュニティや防災、福祉、教育等の取り組みでや担い手の確保が課題。</p> |

新拠点

神奈川県松田町

やまびこ館



solar crew

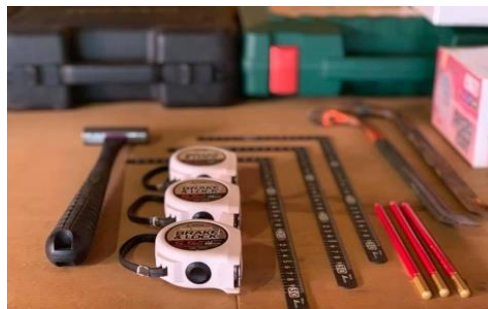
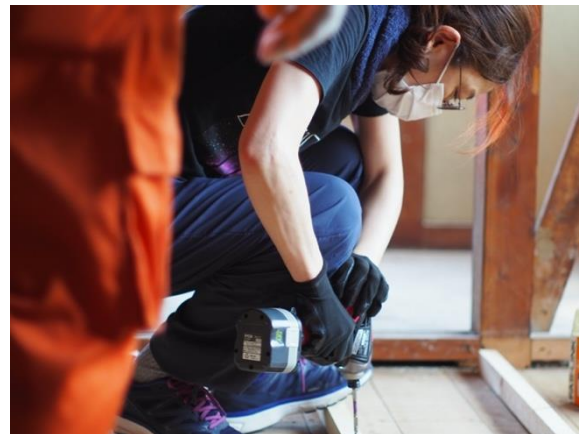
真鶴町・松田町・山北町との連携



solar crewはみんなで作ることを大切にしています。



大人も子供も



お一人での参加も ご家族での参加も



DIYイベント情報をいち早くゲットしたい方は
Facebook、Instagram、YouTubeで「solar crew」と検索♪

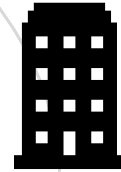
solar crewが目指す持続可能な『まちづくり』

地域持続可能計画 CCP (community・continuity・plan)

地域の住民や企業が主体的に防災力の向上を目指す。



- ・ DIYを通じたコミュニティ形成
- ・ 防災拠点型コミュニティスペース



- ・ 防災拠点型ワークスペース
- ・ 地域コミュニティとの関わり



solar crewの立ち上げ

2022年8月～

タイホ防災株式会社と協業開始。

関東圏と関西圏のまちづくり、防災拠点の拡大を目指します。



タイホ防災株式会社

各種消防設備設計施工・保守点検業務・防災設備機器販売

タイホ防災株式会社

設立：1963年7月

所在：大阪市住吉区山之内4-12-12

業務：消防用設備全般における設計、施工、点検、管理コンサルタント業務
災害時備蓄用品（非常食、非常用トイレ、携帯浄水器などの販売）

アイディアワークショップ開催

山北拠点【内覧会】にお越しくください！

8月27日

土

13:00 ~ 15:30

お申し込みはこちら！



山北町民の生活を支えてきた診療所が舞台です。
工事前の診療所としての姿を是非ご覧いただき、今後の活用を一緒に考えましょう！



「いつも」を良くする。「もしも」も良くする。社会が変わる。 フェーズフリーアワード2022に挑戦中！

災害の芽となる気弱性は、日常の中にすでにある。

非常時への備えは、多くの人にとって難しい。

災害を減らし東を軽減するためには、
日常生活を変えることが大切。

—ならば、
「いつも」を良く(気弱性を小さく)することで
「もしも」を良くできるようなモノやコトに
あふれた世の中を目指したらどうか。



**オーディエンス投票開催中！
投票にご協力お願いします！**

投票期間は～9/1(木) 10:00

35

すでに世の中に存在するモノやコト

17

まだ具現化されていない
アイデア段階のモノやコト